

「研究課題名：日本における HIV 感染者・エイズ患者の発生動向に関する研究」への  
ご協力をお願い

### 情報の利用目的及び利用方法

2014 年国連合同エイズ計画（UNAIDS）が、HIV 感染拡大防止に向けたカスケード戦略〔90（診断割合）-90（治療割合）-90（成功割合）戦略〕を提唱して以来、各国で未診断者を含む HIV 感染者数の推定およびその方法論の開発が進められています。

しかし、日本では、感染症法に基づき、毎年の新規 HIV/AIDS 報告件数が継続的に把握されているものの、毎年、未診断例も含めて何人が HIV に感染し（HIV 罹患数）、このうち何割が診断されているか（HIV 診断割合）との情報は無く、最初の 90（診断割合）の把握が困難な状況です。

本研究は、国際的に用いられている複数の既存の方法を基盤に用いて、まずはパイロット的に大阪府、沖縄県における HIV 感染者数の推計値を提示するとともに、分析を進める上で工夫が必要と考えられた運用上のポイントを整理し、将来の全国推計の安定的な実施に必要な情報として活かしていくことを目的としています。本研究は、医療機関の HIV/AIDS 患者様のこれまでの診療記録を用いて行われます。協力医療機関から情報提供を受けるにあたり、個人を識別できる情報は削除されております。このため、国立感染症研究所では対象者を識別することができないデータのみを扱うこととなり、解析には個人を特定できる情報は含まれておりません。また、提供される情報はパスワードで保護され、パスワードの情報は別メールで送付されます。本研究責任者の責任の下、国が定めた倫理指針に従って厳重に保護、保管され、本研究の担当者（研究責任者および研究分担者）以外は利用いたしません。研究の成果を学会あるいは誌上に公表する際にも、個人を特定できる形での公表は行いません。

なお、本研究は厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策政策研究事業）を受けております。

この研究のために情報を提供するかどうかは、患者様の自由意思です。提供しないことにより不利益を被ることは一切ありません。その場合には、令和 2 年 3 月 31 日までに患者様本人、もしくはその代理人の方が受診された医療機関へお申し出ください。

### 利用情報

対象者：1985 年～2018 年に「独立行政法人国立病院機構大阪医療センター」または「琉球大学医学部感染病態制御学講座（第一内科）」を受診した HIV/AIDS 患者様  
情報の項目：初診年月日、診断年月日、診断時年齢、性別、国籍、感染経路、病型、  
HIV 抗体検査が最終陰性であった年月日、  
初めて HIV 抗体検査が陽性であった年月日、ウエスタンブロット法の結果、  
初めて PCR 検査が陽性であった年月日、HIV RNA 検査の結果、  
急性感染の発症年月日とその症状、  
ART 開始までの検査値（各採血年月日、各 CD4 陽性 T 細胞数（/ $\mu$ L）、  
各ウイルス量（copies/mL））、ART 開始年月日、

ART 開始前の死亡の有無とその死亡年月日、ART 開始前の脱落の有無、  
HIV ウイルスのサブタイプ

情報を利用する全ての共同研究機関および情報管理に関する各研究責任者

- ・独立行政法人国立病院機構大阪医療センター (責任者：白阪 琢磨)
- ・琉球大学医学部感染病態制御学講座 (第一内科) (責任者：健山 正男)
- ・国立国際医療センター臨床研究センター (責任者：尾又 一実)
- ・広島大学大学院医歯薬保健学研究科健康情報学 (責任者：梯 正之)
- ・国立感染症研究所感染症疫学センター (責任者：砂川 富正)

研究全体の管理責任者

国立感染症研究所感染症疫学センター 室長 砂川 富正 (すながわとみまさ)  
〒162-8640 東京都新宿区戸山 1-23-1  
電話： 03-5285-1111 (代) 内線：2555  
Fax： 03-5285-1177 E-mail：sunatomi@niid.go.jp

各医療機関連絡先

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター  
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 2-1-14  
電話： 06-6942-1331 (代) 白阪 琢磨

琉球大学医学部感染病態制御学講座 (第一内科)  
〒903-0215 沖縄県西原町字上原 207  
電話：098-895-1144 健山 正男